

## 昨年を振り返って

今年の大学祭実行委員会が掲げるコンセプトは「めざせ全学祭」である。

昨年は、東広島キャンパスへの統合移転も完了し、その記念事業「フェニックスフェスタ」の一環の行事として行われた。国際シンポジウムやシユミット前西独首相を迎えての講演会の開催等と同時に、地域と協力したイベント（コンサートや各種スポーツ大会等）や各学部による行事など、盛りだくさんの催し物が行われた。

こうした事業の開催にあたり、原田学長は昨年の本誌のインタビューに答えて、「全学の構成員がこれらの事業に積極的に『参画する』という意識を持つ欲しい。また、学部のレベルではなく大学のレベルで『統一された大学』の意識が必要だ」とも語つておられる。

確かに一つのキャンパスにといった物理的条件はクリアされはしたが、本学が目指す真の統合への目標にはまだ遠い感のするのは小生だけだろうか。

## 大学祭が目指すもの

さて大学祭については、平成五年度の学生委員会で、そのあり方に種々の

# 大学祭に思う

小村 勇  
(学生委員会委員長)  
Komura, Takashi

検討がなされ、大学の機能を活性化させる有効な手段と位置づけ、全学的行事として取り組むことに大きな意義があるとしている。

そしてその目的とするところは、第一に、学生の課外活動、教職員の文化・余暇活動の成果を学内外に発表し、第二に、学生相互のあるいは教職員と学生、さらには市民も参加する各種のイベントを通じて相互の親睦を深め、第三に、教育・研究の施設、成果をわかりやすく地域社会に開放することで地域住民の理解と関心、支援等を高め、大学機能のさらなる活性化に資することにあるとし、本年度もその方針に沿って開催されることになっている。

第二の目的に沿った企画として、学内外のバレーボール愛好者を対象に、全日本女子バレーの代表的選手、大林さん等を招いての講習会、恒例になつたフリーマーケット、地元自動車メーカーによるモーターショウも楽しみである。また保健管理センターでは、エイズ写真展やエイズ講演会が行われる。

## 大学祭を起爆剤にして

総合科学部では、高校生と一般社会人を対象にした一日体験入学や学部の教育研究活動の様子をパネルで紹介し、教育学部は、オペラの名場面を上演するオペラハイラン、理学部では「現代の基礎科学をあなたの目で！」と題する公開講演や、各学科の施設・研究の紹介が準備されている。

工学部では、NHK主催のロボットコンテストに出場予定のロボットの作動実演や、このマシン制作に関するアイデアの紹介、また、「コンピューター映像の館」と題しての、コンピューターを使用してのいくつかの試み（コンピューター・グラフィックス・モーションピクチャの歴史を紹介する映像、コンピューター・グラフィックス制作の実演、ネットサーフィンで世界各国の映像等にアクセスして世界旅行の気分を味わう試み、モーフィング技術の見せてくるだろう。

## 今年は、全日本女子バレーの大林選手もやって来るしロボットもいる

目的の第一に関連する企画として、バンド演奏、写真展、天文学研究会による星の扉96、広島県の生き物たちの紹介、エイズ展示、水彩展、総科講義棟前の多くの模擬店等々が予定されているし、また、武道の演武会やダンスの披露もあり、日頃の成果を存分に見せてくるだろう。

実験等) やセラミック膜の分離の展示、人力ボートレース学生部門で優勝したボートへの体験試乗会等々、興味の引かれる企画がふんだんに準備されている。また保健管理センターでは、エイズ写真展やエイズ講演会が行われる。